

一般農業（畜産）

山形生まれ・山形育ちの畜産物の
生産拡大を図ります

現在の担当業務（畜産）は

主に飼料用稲を生産する耕種農家と利用する畜産農家のマッチングや、自給飼料生産性向上のための実証試験や巡回指導を行っています。これまでの課題を整理したことで、生産性や品質が向上したときにやりがいを感じます。

職場の雰囲気は

農業技術普及課は様々な専門の方がいるので、お互いに分からないところなど聞きあっています。畜産といっても飼料用稲を扱うことが多いので、稲作担当者と調査を行ったり、連携して業務を行うこともあります。その他、事務的な仕事のやり方など話しやすい雰囲気です。

ワーク・ライフ・バランスは

採用初年度から有給休暇も充実しており、1時間単位で取得できるのはスケジュールに合わせて融通が利くので魅力的な点だと思います。休日は実家の犬と散歩したり、県内外に出かけることが多いです。

県職員に興味がある方へメッセージを

畜産職の業務内容は行政、普及、研究、様々な方面から畜産農家を支えることです。配属先によって求められる知識や技術は様々で大変な部分がありますが、その分やりがいのある仕事です。現在、若手職員が増えてきており、仕事の面でもプライベートの面でも話しやすい人が多いです。ぜひ、山形県の畜産を盛り上げていきましょう。



飼料用稲の調査



休日の様子（犬と散歩）



水田の肥料濃度調査



飯島 悠介

庄内総合支庁産業経済部
酒田農業技術普及課
(令和5年度採用)

ある1日の流れ



8:30

メールや今日のスケジュールを確認

10:00

自給飼料圃場調査、個別指導

12:00

休憩（お弁当）

13:00

調査・指導内容のまとめ
会議や研修会等の準備・調整

17:15

業務終了